

＜これまでの経過＞

平成 19 年

12/20 県教委から「聾学校を聴覚特別支援学校にしたいので団体の意見を伺いたい」との申し出があった。すぐに静聴協・静通研が対応を協議。

平成 20 年

- 1/17 県教委と 1 回目の話し合い。静聴協から 5 名、県教委特別支援教育課長補佐ら 2 名。
- 1/27 第 12 回ろう教育フォーラム in 浜松にて特別決議を採択。東海聴覚障害者連盟の要望を各会派に持参。文教委員に面会のための日程調整を依頼。
- 1/28 静岡新聞に「聾学校の改称」の記事掲載。県内 3 聾学校の校長が保護者に「県教委からの指示を待っていた。保護者には説明しようとして準備していた」として、「聾学校の校名変更について」文書を配布。
- 2/1 県議会各会派に「聾学校存続に関する要望について」を提出し説明。夜、県教委と 2 回目の話し合い。県教委課長ら、静聴協、通研、県サ連、保護者、ろう児など予想以上の 80 名が集まった。
- 2/4 県教委の課長などが来局
- 2/6 県教委と 3 回目の話し合い。話し合いは深夜までに及び、伊藤会長らは帰宅できず宿泊。
- 2/7 静岡聾学校評議委員会開催。しかし校名変更の議題は上がらなかった。
- 2/14 実績作りの為の話し合いには応じない姿勢を示したが、教育次長が突然来局。「挨拶を」が、3 時間を越える話し合いに。
- 2/14 中日新聞投書欄 元通研会長高橋節「聾学校の名称は再考を」
- 2/17 県教委と 4 回目の話し合い。教育次長ら、静聴協理事、静通研、など 30 名。県教委から一方的に「2 月議会に上程する」と通告される。
- 2/22 この頃から文教委員を中心に県議を個別に訪問。浜松・沼津聾学校から保護者に「聴覚特別支援学校への校名変更(条例改正)について」の文書が出される。条例は議会に諮られて決定することから、聾学校が出す文書としてふさわしくないと両校長に抗議の電話。
- 2/27 朝日新聞「声」欄に静岡支部会員の山本直樹さんの投書「『聾学校』名称残して」が掲載。
- 3/1 静岡市で街頭署名 3,180 筆集まる。この問題で一番抗議していた浜松の池永理事が急逝 (51 歳)。
- 3/1～3伊東市で街頭署名、2,000 筆集まる。
- 3/2 みみの日大会 in 藤枝開催、参加者 790 名ほとんどが署名。
- 3/2 静岡新聞「ろう学校の名称残して・聴覚障害者が署名活動」記事掲載。
- 3/4 静岡新聞「聴覚障害への理解訴え」の見出し、3/2 みみの日大会での伊藤会長挨拶の校名変更関連記事掲載。
- 3/7 知事・議長宛に陳情書と 28,000 筆の署名を提出。テレビ、新聞の取材多数。静岡第一テレビのニュースで放送される。
- 3/8 静岡新聞ひろば欄に一般の読者から「『特別支援』とはなんと恩着せがましい名称か」という投書と、「ろう学校名称変更で陳情」の記事掲載。

- 3/8 中日新聞「ろう学校の名称変更反対で署名」記事掲載。
- 3/8 朝日新聞「『聾学校』名称変えないで」記事掲載。
- 3/10 朝日新聞全国版「聾学校改称しないで」と題し大きく取り上げられる。
- 3/10 文教警察委員会 1 日目。モニター室・委員会室での傍聴。ろう者 5 名、手話関係者 9 名 手話通訳者 4 名。
- 3/11 文教警察委員会 2 日目。モニター室での傍聴。ろう者 8 名、手話関係者 2 名 手話通訳者 4 名。
- 3/11 中日新聞「聾学校改名必要か 委員から懸念の声」掲載。
- 3/12 文教警察委員会 3 日目。モニター室での傍聴。ろう者 8 名、手話関係者 2 名 手話通訳者 4 名。
- 3/12 静岡新聞「聾は P T A 名などに 県教育長校名変更で提案」記事掲載。
- 3/12 朝日新聞「天声人語」で山本直樹さんの投書を取り上げる。
- 3/12 夕方 S B S テレビが「『聾学校』の校名変えないで」と題し、3/7(金)の署名提出から、委員会の採決までを大きく報道した。画面からは、伊藤会長の表情から怒りが伝わってきた。
記者は「『聾』という表現に対する考え方や対応は様々ですが、一方な変更では、関係者の理解を得られません。平行線のまま押し切るやり方ではわだかまりは残ったままです。」と締めくくった。
静岡朝日テレビも「『聾』が校名から消える」と放送。山本事務局長は「校名変更は残念でたまらない。これからも『聾』という誇りを持った言葉を、後世に伝えていきたい。」とコメントした。
- 3/13 静岡新聞「校名変更案を可決 県議会委 説明不十分の意見も」記事掲載。
- 3/13 静岡新聞ひろば欄「ろう学校改名県の方針に反対」に投稿記事掲載。
- 3/13 朝日新聞「聾学校名称変更を可決 県議会委員会 盲・養護学校も」記事掲載。
- 3/14 朝日新聞英語版 HeraldTribune”What's in a name? Often, more than you know”記事掲載。
- 3/18 静岡新聞ひろば欄に駿南支部会員の齊藤寛さんの投書「ろう学校校名変更配慮を」が掲載。
- 3/19 静岡新聞 社説「慌てる必要があるのか—聾学校校名変更—」掲載。
県議会本会議で「第 24 号議案 校名変更」が採択される。
- 3/20 静岡新聞 ひろば欄「障がい者支援 意識を変えて」掲載。
- 3/20 朝日新聞「聾学校 名称変更が確定 県議会、賛成多数で可決」記事掲載。
- 3/25 議会終了後、静聴協から県教委に連絡してこの日の話し合いとなった。今後、静聴協が県教委に要望書を提出する。どのようにしたら、協会の要望を教育現場で実現できるのかを協議したいと申し出たところ、県教委からは「校名は変わったが、教育の内容をより良くしていきたい。学校の事情をよく知る者を交えて話し合っていきたい」との発言があった。
- 4/12 朝日新聞 日野原重明「『聾学校』は差別語なのか？」